

EA21 環境活動レポート

2014年度版

<2014年3月～2015年2月（運用期間）>



株式会社マルエス

発行日付：2015年3月30日

I 事業活動の概要

事業所名

株式会社マルエス

代表取締役

友田 稔

所在地

埼玉県三郷市半田1420-2

[電話] 048-959-2122

[FAX] 048-959-6650

環境管理責任者

関野 和彦

事務局

関野 和彦 ・ 山崎 八重子

連絡先

[電話] 048-959-2122

[FAX] 048-959-6650

[アドレス] maruesu@f2.dion.ne.jp

事業概要

1. 合成樹脂原料販売
2. 合成樹脂再生原料販売
3. 合成樹脂製品販売
4. 各種成形品製品販売

事業の規模

資本金 2千万円

売上 129千万円（平成26年3月～平成27年2月）

社員数 12名

事業所数 1ヶ所

設立 昭和53年11月20日

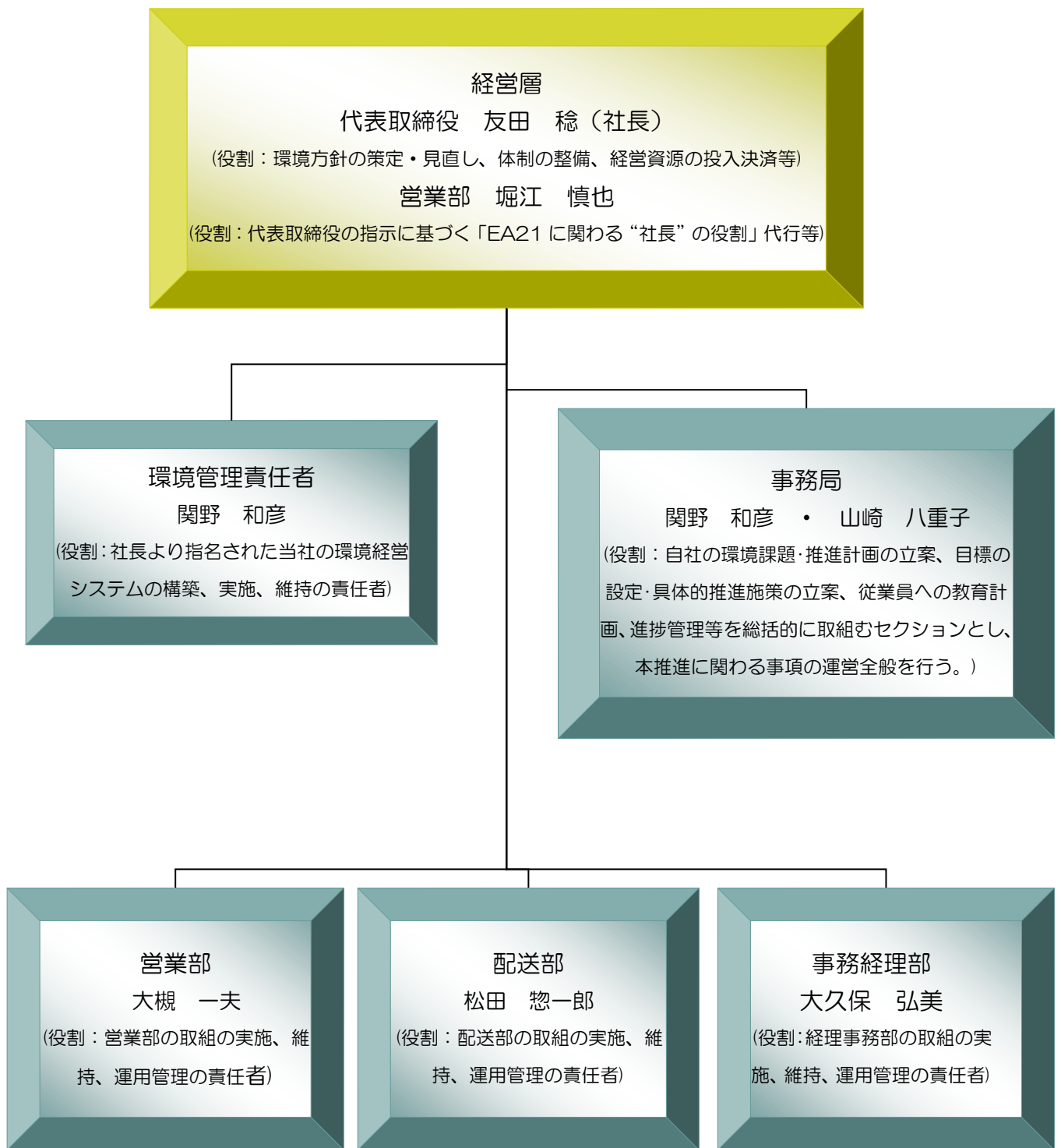
敷地面積 3,465 m²

床面積 940.22 m²

対象範囲（認証・登録範囲）

対象組織 全組織（営業部、配送部、事務経理部）

組織図



基本方針

企業理念

当社は、合成樹脂原料販売業務を通じて、環境問題の重要性を認識し、環境問題との関わりや環境への影響度合等の視点から環境問題取組の環境方針を定め、地球環境の保全活動や社会貢献活動、環境負荷の低減に配慮した活動への取り組みを推進していきます。

また、環境関連法規制等を遵守することをあわせて誓約します。

1. 自社における二酸化炭素排出量削減の推進
事業活動に於ける軽油、ガソリン、電力の削減による二酸化炭素排出量の低減を推進します。
2. 廃棄物排出量削減の推進
事業所から出る廃棄物を分別、リサイクルにより最小限にすることを推進します。
3. 総排水量削減の推進
事業所内で使用する水の削減により、総排水量の削減を推進します。
4. グリーン購入の推進
グリーン購入の種類を増やし環境負荷の低減を積極的に推進します。
5. 再生商品の取り扱いの推進
再生商品の取り扱い量を増やし環境負荷の低減を積極的に推進します。

2015年3月30日
株式会社マルエス
代表取締役 友田 稔

Ⅲ 環境目標とその実績

(1) 運用期間

- ① 運用期間は、2014年3月～2015年2月（12ヶ月）
- ② 会計年度は、2014年3月～2015年2月

(2) 目標達成状況

- ① 当社としては、2014年度からの12ヵ年目標を、次の通り掲げて環境活動に取り組んでいきます。

取組項目	(単位)	2013年度 (対比年度の実績)	2014年度 (目標1%)	2015年度 (目標2%)	2016年度 (目標3%)
CO ₂ 総排出量	(kg-CO ₂)	138,990.3	137,600.4	136,210.5	134,820.6
① 電力使用量削減	(kWh)	23,619.0	23,382.8	23,146.6	22,910.4
② ガソリン使用量削減	(ℓ)	3,133.6	3,102.3	3,070.9	3,039.6
③ 軽油使用量削減	(ℓ)	46,787.9	46,320.0	45,852.1	45,384.3
一般廃棄物の排出量削減	(袋)	419.0	414.8	410.6	406.4
水使用量削減	(m ³)	144.0	142.6	141.1	139.7
グリーン購入推進	(点)	5	1点増加	2点増加	3点増加
再生商品取扱推進	(t)	458.0	462.6	467.2	471.7

- ② 運用期間の結果（実績）については次のとおりです。

取組項目	単位	2013年度（基準年） (対比年度の12ヶ月間実績)	12ヶ月実績 (2014年度)	12ヶ月目標 (2014年度)	1%削減 (目標達成状況)
CO ₂ 総排出量削減	kg-CO ₂	138,990.3	158,088.7	137,600.4	×
電力使用量削減	kWh	23,619.0	22,132.0	23,382.8	○
ガソリン使用量削減	ℓ	3,133.6	3,691.7	3,102.3	×
軽油使用量削減	ℓ	46,787.9	53,785.7	46,320.0	×
一般廃棄物排出量削減	袋	419.0	444.0	414.8	×
水使用量削減	m ³	144.0	163.0	142.6	×
グリーン購入推進	点	5	6	1点増加	○
再生商品取扱推進	t	458.0	1,003.3	462.6	○

注：一般廃棄物は袋（約4.5ℓ/袋）で計測した。

表の2013年度及び2014年の各数値は、3月～2月の12ヶ月間の集計値である。

- ③ 購入電力のCO₂ 排出係数
0.378 kg-CO₂/ kWh

IV 主要な環境活動計画の内容

(1) 目標を達成するための取組み

- ① 電力使用量削減
 - 昼休み・休憩時など使用していない照明をこまめに消す
 - 事務所の冷暖房の温度設定の管理
 - PC 未使用時は電源を消す
- ② ガソリン使用量の削減
 - アイドリングストップ運動
 - 急停車、急発進をしない
 - 運転ルートの集約
- ③ 軽油使用量の削減
 - 運搬の集約
 - 急停車、急発進をしない
 - アイドリングストップ運動
 - タコメータによる無駄走行のチェック
- ④ 一般廃棄物の発生抑制と分別
 - ゴミの排出を抑える（コピー用紙再利用）
 - 資源ゴミの分別
- ⑤ 水使用量節減
 - 食堂・手洗い等の節水
 - 洗車時必要以上放出しない
- ⑥ グリーン購入の推進
 - エコ商品の把握
 - 備品購入の際は省エネタイプを選ぶ。
- ⑦ 再生商品取り扱いの推進
 - 実績把握と仕入先の確保

V 環境活動の取組み結果の評価

(1) 当社の環境への負荷の低減・管理への評価

CO₂排出量については、営業活動の拡大による影響でガソリン使用量・軽油使用量が共に大幅に増えたことで、目標を大きく上回り達成できなかった（2014年度目標比114.9%）。電力使用量は2014年度目標比94.7%と使用量を削減できた。これは社員の自主的な冷房費・断熱費削減の意識の結果で、事務所内でも冬は寒くて震えていた社員もいたぐらいであるので、今後は少し目標を緩和しても良いかも知れない。一般廃棄物排出量は2014年度目標比107.0%と増えてしまった。基本的に廃棄物が発生する業務体系では無いので、敷地内外の清掃・草刈り等の質・及び回数が増大したことが主原因であると推測される。

水使用量は163m³と2014年目標値比の114.3%となり、大きく増大した。これは2012年度の実績値とほぼ同じであり、2013年度の努力を振出に戻した内容である。原因が営業活動の拡大による洗車回数の増大であるとしても、今後は節水を強く意識せざるを得ない。

グリーン購入推進と再生商品取扱推進は目標を達成できた。特に再生商品取扱量は2014年度目標比216.9%と大きく伸びた。これは営業部の拡販営業の成果である。

(2) 環境マネジメントシステム導入の評価

- 法規制や、自主規制、環境への配慮などに関するチェック機能が強化された。
- 電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量などの数量を把握する事により、社員の取組み意識が向上した。

(3) 次年度の取組内容

今年度の取組内容を見直し・変更する計画であったが、それも含めて再度検討する。当面は次年度も現取組内容を引き続き実施し、社員全員で環境理念、環境方針を全体会議時に確認しあいながら、取組み意識の向上を図る。

VI 環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価の結果

以下の法令について、環境管理責任者により9月2日各要求事項が実施されかつ問題のないことを確認した。

- 廃棄物の処理に関する法律
- 消防法
- PRTR法
- 下水道法
- 高圧ガス保安法
- 労働安全衛生法

(2) 違反、訴訟等

2014年度において、環境関連の違反、訴訟等はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

Ⅶ 代表者による全体評価と見直しの結果

会社を挙げての再生商品取扱推進活動は成果が出せたと評価する。営業担当者のレベルもこの拡販活動により強化できたと考える。再生商品は単価及び粗利率が小さくなるのが欠点であるが、こうしたレベル強化の結果を踏まえて、2015年度はより付加価値の高いエンジニアプラスチック原料の拡販にも注力していきたい。

「エコアクション21」の活動を、CO₂排出量削減に留まらず、会社の業務の拡大に今後も活かしていきたい。

以上